

安全で働きやすい職場づくり

78期矢崎グループ 安全衛生活動方針

矢崎総業株式会社 取締役副社長



- 1 法令遵守のもと、職制トップとすべての従業員が一体となった安全衛生活動を推進し、「安全風土」の定着を図る。
- 2 事業場の主体的な安全衛生管理体制の維持強化を図るとともに、継続的な改善を行い、災害ゼロを目指す。
- 3 職場のコミュニケーションを更に高めるとともに、新たな施策を織り込んだ従業員の心身の健康保持増進を図る。

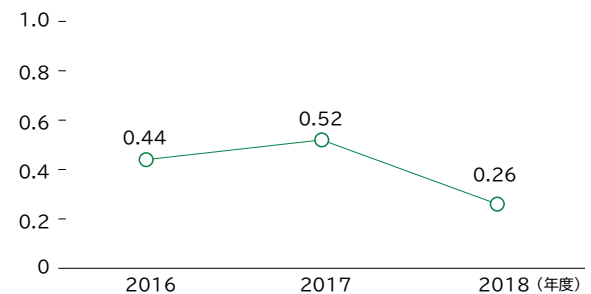
労働安全衛生体制

国内事業所では、職場の潜在的な危険を見つけ出し、労働災害を未然に防止するリスクアセスメント活動や、危険に対する感受性を高める体感教育、KY（危険予知）教育などを実施し、従業員の安全意識の向上を図っています。また、安全衛生管理の運用状況を評価する事業場診断を実施するなど、全事業所において従業員だけでなく、派遣社員、外部業者まで含めた働く人の安全を第一優先とした労働環境の改善に取り組んでいます。万が一労働災害が発生した場合は即時対応するとともに、対策を含めた情報を確実に社内でも共有し、類似災害の再発防止に努めています。この結果、2018年度における労働災害（休業）度数率は0.26でした。2019年度は、増加傾向にある軽微な労働災害に対しても全社で取り組み、労働災害発生件数のさらなる低減をめざします。さらに、グローバルでの安全衛生活動でも、労災情報の共有による類似災害の防止と、安全意識の向上に努めています。

労働安全衛生に関する教育・研修

安全健康推進部では、新入社員や新任役職者向けの安全衛生教育、従業員を対象とした安全体感教育、安全衛生法令に関する勉強会などを実施しています。そのほか、各事業場においても、さまざまな教育を行っています。

労働災害発生件数・頻度



安全衛生教育等体系図 ※社外研修を含む

ねらい 時期 身分 (階層)	人づくり						職場づくり			体制づくり												
	導入	昇格	専門				重点項目			全社推進・フォロー活動												
役職者・ 管理者		新リーダー勉強会 新部長勉強会	作業変更時教育	職長教育※	安全体感教育	安全体感教育講師養成教育	普通救命講習※	普通救命講師養成教育	各種資格(衛生管理者等)取得教育※	交通安全教育	事業場独自教育※	セルフケア教育	ラインケア教育	RTP研修	SCサークル活動	リスクアセスメント活動	安全衛生事業場診断	安全衛生法令遵守状況確認	工場群 安全委員会・担当者会議	支店・管理 安全衛生連絡会	健康管理担当者フォロー会	看護職研修会
一般職	期中入社研修	昇格研修																				
新入社員	入社研修																					